

院内がん登録に支えられる 三重県の地域がん登録

三重県地域がん登録室は、三重大学医学部附属病院がんセンター内に設置されています。私はがんセンターに所属し、がん登録部門(院内がん登録および地域がん登録)を担当しています。三重県の地域がん登録の特徴は、都道府県がん診療連携拠点病院である大学病院内で行われており、院内がん登録と連携・協力している点にあります。がん登録部門には、私のほか、院内がん登録実務者2名、地域がん登録実務者3名(うち1名が地域がん登録との兼務)の事務職員が配置されています。地域がん登録実務者のうち2名は院内がん登録経験者であり、全員が院内がん登録実務者初級者研修を修了しています。三重県では2つのがん登録が同じ部署内にあるという特長を生かして地域がん登録を行っています。県内の院内がん登録実務者同士の情報交換のためのメーリングリストの活用のほか、三重県がん診療連携協議会がん登録部会の活動として、県内のベテラン実務者に講師をお願いし、小グループの演習形式でおこなうがん登録勉強会を定期的で開催してきました。講師担当のベテラン実務者の皆さんは、演習問題の作成の段階から関わっており、問題作成の過程で実務者個人の情報の捕らえ方の違いがわかることもあり、このことで拠点病院間での登録のばらつきが少なくなっています。また受講者は、ベテラン実務者と直接指導を受ける中で、自施設で困っている点など気軽に質問することができます。勉強会には地域がん登録室の実務者も参加しており、院内・地域の実務者が、お互いのがん登録の考え方をより理解することができるとともに、地域がん登録室から各施設への問い合わせがしやすい環境ができています。こうした拠点病院の実務者の方々の協力に支えられ、三重県地域がん登録データの質は保たれています。



小グループに分かれての演習形式の研修

三重県地域がん登録は2011年より開始され、今年で7年目を迎えました。これまでの院内・地域のがん登録の連携により、三重県では、2回目の全国集計参加時に登録精度基準を満たすことができました。平成27年度から実施してきた全国がん登録実務者向け研修会においても、がん診療連携拠点病院の実務者に協力・支援をお願いしています。三重県の地域がん登録は院内がん登録実務者の協力・支援によって支えられています。三重県の確定データは3年分とまだ少ないですが、今後は、データ収集だけではなくデータ利活用の研修も進めて行きたいと思います。

平成28年度三重県地域がん登録実務者研修会
(鈴鹿市にて)



JACRでは、「院内がん登録を含む」がん登録事業の充実およびがん登録由来データの利活用の充実を支援することをミッションに掲げています。また、2017年6月に愛媛で開催される「日本がん登録協議会第26回学術集会」では、院内がん登録関連の企画が開催され、院内がん登録データを用いた研究発表の場が設けられる予定です。今回初めて全国レベルで院内・地域の実務者が交流できる場ができたことは画期的で、これをきっかけとして全国レベルでの院内がんと地域がんと連携・協力がより進むことを願っています。